



MC DIGITAL REALTY

2022年10月31日

MC デジタル・リアルティ株式会社

各位

MC デジタル・リアルティ、 首都圏において 36MW の大規模データセンター建設に本格着工

～ 千葉県印西市 2 棟目の開発着手により、NRT キャンパスの更なる拡張へ ～

2022年10月31日、東京発・データセンター、コロケーション、相互接続サービスを日本国内にて展開する MC デジタル・リアルティ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 手塚万峰、以下：MCDR）は、2022年10月に首都圏 4 棟目となる NRT12 データセンター（以下、NRT12）の建設に本格着工しました。NRT12 の開設により、サーバー用電源 36MW の大規模データセンターが追加され、MCDR は国内で計 8 棟、業界トップクラスの規模となる約 170MW のデータセンター（2023 年開設予定の KIX13 データセンターを含む）を運営することとなります。NRT12 のサービス提供開始は 2024 年初旬を予定しています。

この度着工した NRT12 は首都圏（千葉県印西市）の NRT キャンパス 2 棟目となるデータセンターです。これは、2021 年 9 月に竣工した NRT10 データセンター（サーバー用電源容量 38MW）の堅調な需要・成約を受け、追加開発に着手するものです。NRT12 が完成すると、2 棟合計で 74MW のデータセンターキャンパスとなり、将来的な追加開発を含めて、周辺一帯に合計 120MW 超のデータセンターキャンパスを構築する当社の計画にとって大きなマイルストーンになります。

近年、ビッグデータ、人工知能（AI）、5G モバイルネットワークなどの主要なデジタル技術への投資がグローバルに加速しており、日本は、最も成長が著しいデータセンター市場の 1 つです。中でも東京は、日本の首都かつ企業・金融の集積地として大量のデータを創出しており、今後も日本市場の中核ハブとして、旺盛な需要が見込まれます。

MC デジタル・リアルティ 代表取締役社長の手塚 万峰は今回の NRT12 の着工について、次の通り述べております。

「今回、首都圏 4 棟目のデータセンターとなる NRT12 は、当社が運用する他データセンターと同様、キャンパス化による拡張性、大手 IT 企業や金融機関等が求めるグローバル水準の建物仕様や運営体制、そして高いセキュリティ水準を持ち合わせております。当社は、今後も首都圏および関西圏で大規模データセンターキャンパスを拡張し、お客様により利便性の高いサービスを提供して参ります。」

また、当社取締役 COO のクリストファー・ハンも次の通り、今後の展望を述べております。

「欧米同様、日本でもデータトランザクションがより活発化しており、特にハイブリッドクラウドを用いたデジタルインフラの再構築に注目が集まっております。MC デジタル・リアルティは、DLR の提唱するコンセプト、データセンタープラットフォーム『PlatformDIGITAL®』を提供し、データセンターの規模やロケーション、構成、エコシステムに囚われない柔軟なデータトランザクションを支援することで、クラウド事業者・企業の双方にとって、より付加価値のあるデータセンターを目指します。」

NRT キャンパスイメージ



開設	2024年（予定）
延床面積	27,571 m ² （予定）
サーバー用電力容量	36MW（予定）
収容可能ラック数	約 4,000 ラック（予定）

MC デジタル・リアルティについて

MC デジタル・リアルティ株式会社は、三菱商事株式会社と Digital Realty Trust Inc.（米国上場リート）の折半合弁会社として 2017 年 9 月に設立されました。大手クラウド事業者等の顧客がデータ処理等を行う上で必要な高い堅牢性とセキュリティ、安定した電力・空調、並びにネットワークサービス等を 24 時間 365 日提供します。

三菱商事の IT や不動産・インフラ知見、並びに、業界大手 Digital Realty のグローバルな顧客網と、大規模データセンターの開発・運用知見を活かし、本邦データセンター業界を牽引し、社会の発展に貢献します。

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

【本リリースに関するお問合せ先について】

MC デジタル・リアルティ株式会社

マーケティング

Email: marketing@mc-digitalrealty.com